

- A. 日 時 2011年2月21日(月) 17時00分～19時00分
- B. 場 所 建築学会会議室
- C. 出席者 井上勝夫、安藤 啓、大鶴 徹、岡田恭明、佐久間哲哉、田端 淳、中澤真司、羽入敏樹、濱田幸雄、平松友孝、平光厚雄、堀之内吉成、峯村敦雄、宮島 徹、吉村純一、渡辺充敏(敬称略)
欠席者 佐藤史明、土田義郎(敬称略)
- D. 提出資料
- No.5-0 2010年度 第4回音環境運営委員会議事録(案)(渡辺)
- No.5-1 各小委員会の活動成果報告書
- No.5-2 小委員会設置申請書<音響数値解析ソフトウェアの調査・開発WG>
- E. 審議事項
1. 前回議事録確認(資料No.4-0)
 - 承認された。
 2. 環境工学本委員会報告(田端主査)
 - 2010年度大会の研究集会の資料は全て売り切れており、入手する場合はAIJ デジタルライブラリからの購入となる。
 - 各小委員会からの活動成果報告書の提出が前回と今回の運営委員会の間にあった(資料No.5-1)。評価は学会のHPに個人名等も含めて載る。もし修正があれば3月末までは差し替え可能である。
 - 竹中育英会建築研究助成候補募集の申請書提出は3月末必着である。応募者は大学院またそれに相当し、無所属の研究者に限る。
 - 国際交流振興基金は、海外から講演者を招請する時等に援助する費用であり、シンポジウムの開催等の際に必要なに応じて申請するものである。
 - 会員外の委員に関する申し合わせについて説明があった。
 - 2011年度大会について次の説明があった。
 - ・ 4/19にプロ編があり、3/9までにメンバーを確定し事務局に連絡する。音環境は今までの事例通り、現時点での主査(田端主査)および各小委員会の主査で対応する。
 - ・ 大会のスケジュールは、9:00～12:30 および 13:30～17:00 と例年通り。
 - ・ 研究懇談会(環境)は1日目の午後、研究協議会(環境)は2日目の午後開催。
 - ・ 研究懇談会では各分野の最前線の情報を各運営委員会から報告し、音環境は次期主査(濱田先生)が説明する。
 - ・ 大会懇親会の会場は検討中である。
 - 特別研究テーマが選考され、“カーボン・ニュートラルな建材特別研究委員会”において材料と環境分野を横断した研究を行う。
 - 若手奨励特別研究テーマに環境工学分野から2件採択された。久野委員長より、予算は各年度100万円を申請できるとの確認があった。
 - 2009～2010 調査委員会活動報告会が3/18の総会の午前中にあり、環境工学分野に関して久野委員長が報告される。
 - 2011年度予算が決まった。音環境の予算は69.7万円であり、追って割り振りを決める。(→審議事項)
 - 奨励賞委員に坂本先生を推薦する。技術報告集委員会委員を音環境から選任する。(→審議事項)
 - 論文集委員会委員については、空気分野の論文が多いので、来年度に限り空気担当を1名増やして11人体制とする。
 - 委員会活動における女性会員の参画機会の拡大に関するお願いが、男女共同参画推進委員会からあった。
 - 音響数値解析小委員会傘下のWG設置が承認された。
 - 第69回音シンポが承認された。羽入主査から、音シンポの実施計画概要について説明があった。
 - 第68回音シンポ開催に関するMLが2/25に配信される。
 - 5月に“設計のための建築環境学”が出版される。

- AIJ-ES の改訂フローについての意見を 3 月中旬まで募る。(→審議事項)
- 大学院インターンシップ設備系 WG 報告書(第 2 次案)について、意見があれば 3/15 まで。
- 実験用教材の刊行に関する質問があり、講義用教材環境編、設備編は 3 月中に出版されるが実験用教材は遅れているとの情報提供があった。

3. 審議事項

- 技術報告集委員会委員への就任を熊本大の川井先生に打診する。
- 予算は、運営委員会に 50%を割り振り、残りを 6 つの小委員会に一律に割り振る。田端主査が案を作って事務局に届ける。
- AIJ-ES の改定フローに関して次の意見等があった。
 - ・ 内部査読、外部査読をどの時点で行うかは重要である。
 - ・ 大改定と小改定の区切りが不明である。
 - ・ 事務局からは各運営委員会に常置委員会があった方が良いのでは、との意見があったとの事。
 - ・ 出された意見について、運営委員会として環境基準作成小委員会へ送る。

4. 小委員会・WG 活動報告

固体音小委員会 (中澤主査)

- 12/10 に第 8 回、2/2 に第 9 回を開催、次回は 3/15 を予定。
- A 特性音圧レベルを直接測定、評価する方法と、バンド音圧レベルから L または A 特性バンド音圧レベルから算定、評価する方法について長所短所を取り纏め、検討している。一部内容を INCE の春季研究発表会に投稿予定であるので、投稿内容について審議した。また、AIJ 大会の OS にも投稿予定である。聴感評価実験について、濱田先生から InterNoise に投稿予定。
- WG を 12/9 に開催した。鉄道固体音に関する文献収集のまとめを進めている。また、海外での測定法について寄せられた情報を基に意見交換をした。

集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会 (濱田主査)

- 12/10 に開催、次回は 3/4 予定。
- 実建物での室内発生音調査の具体的方法について討議した。騒音の種類を特定するために録音する場合、プライバシーに関して慎重に対応しなければならず結論に至っていない。
- 床衝撃音の評価方法についてフリーディスカッションを行い、委員から問題提起のあった 31.5Hz 帯域の寄与について議論した。
- 室内発生音のアンケート調査の整理方法について議論し、鉄道騒音と道路騒音で特徴がありそう、また共用設備と占有設備に分けて考えるとまとまるのではないかと議論があった。

建築音響測定法小委員会 (宮島主査)

- 1/12 に第 9 回を開催、次回は 3/16 予定。
- 音環境規準検討小委員会から依頼された遮音性能の A 特性評価に関する検討を進めており、持ち寄ったデータ等に基づき、基準スペクトルの妥当性について議論した。また、提供された資料に基づき現状の D と単一数値評価量の相関について議論した。AIJ 大会 OS 投稿に向け、次回までに原稿をまとめる予定である。
- フランキングについてのアンケート案の作成を進めている。フランキングの意味合いについて各人のとらえ方が異なっていたため、この点に注意して進める必要があるとして議論を進めている。

室内音響小委員会 (羽入主査)

- 1/19 に開催、次回は 3/28 予定。
- シンポジウムの内容について議論した。前半は講演形式で、第二部では橘先生の司会によるパネルディスカッションを行う。学生が参加しやすいように会費を安く設定している。建築家の参加を増やすための広報方法は検討中である。
- 委員が設計事例集を持ち寄って説明し、事例集作成上の課題や事例を集める方法について議論した。
- 音響指標 WG は 1/7 に開催、次回は 2/22 予定。ベンチマークのためのプログラムの作成段階である。
- スピーチプライバシーWG は 12/22、2/1 に開催。委員が執筆した音響技術の記事について解説した。InterNoise のサテライトシンポジウムは建築学会としては企画しないことになった。

音響数値解析小委員会 (佐久間主査)

- 1/26 に第 4 回を開催、次回は 3/11 予定。
- 書籍出版に関連した読み合わせを徹底的に行っており、統一された記述になると考えている。
- 3/18 のシンポジウムの講演内容等について確認した。
- InterNoise に招待講演として 3 名の委員が発表する。

音環境規準検討小委員会（平松主査）

- 12/7、1/27 に小委員会を開催。12/13 に規準・設計指針の合同 WG を、1/11 と 2/10 に規準 WG を開催。
- 目次案、構成案が 12 月半ばに出揃ったのでクロスチェック表に落とし込み、決定事項の確認、記入等を進めている。
- 遅れ気味であるが 3 月末に二つの AIJ-ES の WD の作成を目指している。

企画・広報 WG（峯村主査）

- 1/14 に開催、次回は 3/23 を予定。
- 研究動向の調査では、文献の分類を進めているが分野による量の偏りが見られたため、床衝撃音と屋外騒音については分類を小分類化する修正を加えた。入力フォーマットがほぼ整ったので、情報の入力を継続していく。
- 住まい方マニュアルは、一般住宅ユーザーを主な対象としたいくつかの案を検討してきており、次回の運営委員会に提出できればとまとめている最中である。

5. 他学会の予定

日本音響学会・建築音響研究会	3/18	日本大学（駿河台）
	4/22	日本大学（駿河台）

日本音響学会・騒音・振動研究会	3/25	東京大学生研
	4 月	休会
	5 月	名城大学

*S53/3 から今までの資料を DVD で頒布する。検索機能付きである。HP でも案内する。

*委員長が尾本先生に交代する。

6. その他

- 来年度の音環境運営委員会の主査は濱田先生である。

7. 次回予定

- 未定

2010 年度 音環境運営委員会予定		
第 1 回	2010.5.19(水)	実施
第 2 回	2010.7.29(木)	実施
第 3 回	2010.9.27(月)	実施
第 4 回	2010.11.18(木)	実施
第 5 回	2011.2.21(月)	実施